

## 第9回 阪神高速事業アドバイザー一会議 議 事 概 要

1. 日 時：2019年10月31日（木） 16：00～17：30

2. 場 所：阪神高速道路（株）役員会議室

3. 出席者：河合委員、北前委員、正司座長、中浜委員

（50音順）

4. 議事要旨：

○「議事(1)前回議事概要」について事務局より説明。

○「議事(2)2018年度決算報告」「議事(3)2019年度の事業実施状況・トピックス」について、それぞれ事務局より説明後、委員より以下のとおり意見が出された。

\*西船場JCTの整備は、移動時間の短縮等の効果が期待されるが、合流部でより安全・快適に走行できるような工夫が必要ではないか。

\*合流部での運転マナー向上の注意喚起があっても良いのではないか。

\*路面と標識のカラー表示は、お客さまにとって分かりやすい。

\*反対車線の滞水の跳ね返りは、危険であるため、排水性舗装等による対策はできないか。

\*阪神高速乗り放題パスは、更に広報を充実させることで、新たな利用促進に繋がるのではないか。広報には、Twitterのハッシュタグを活用することも考えられる。申し込み手続きの省力化等、お客さまにとっての使い勝手の更なる工夫があっても良いのではないか。

\*自然災害への対応力の強化について、通行止の地域区分の細分化は良い取り組み。災害時の高速道路の早期復旧は、非常に重要であるため、更なる対策を進めてほしい。

\*阪神高速のお客さま満足向上の取り組みが見える化し、お客さまに積極的に伝えることは、非常に重要。今後とも質の高い広報が必要。

\*お客さまの声として、パーキングのトイレが非常に綺麗で使いやすいとの意見がある一方で、神戸線の一部箇所の渋滞が激しいという意見がある。今後とも、対策を進めて欲しい。

\*その他、休憩所事業の状況、駐車場事業の運営、G20開催期間中の交通影響、通行止によるリニューアル工事の実施個所の選定に等に関して質疑応答があった。